

湘南藤沢学会「研究助成金2018」研究成果発表(学会発表)

慶應義塾大学 環境情報学部 2年 名倉 泰生

1.活動の名称

AHFE2018 国際学会 ポスター発表

(英文名: Applied Human Factors and Ergonomics)

2.活動日程

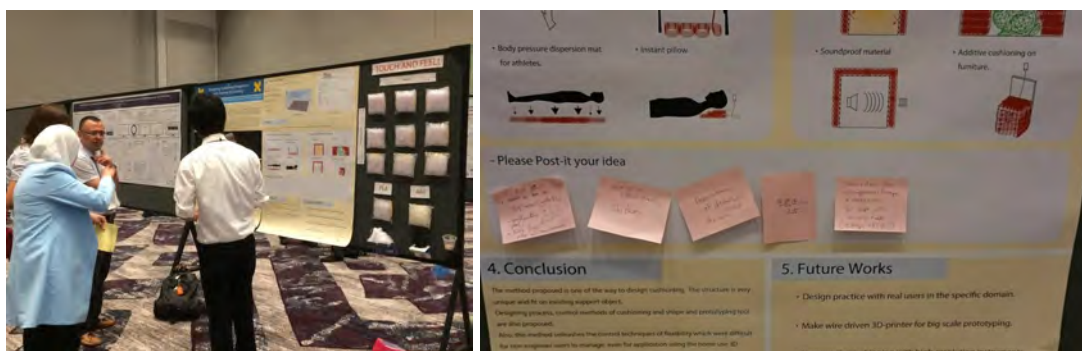
日時:2018年 7月 22日 ~ 7月 25日

場所:Loews Sapphire Falls Resort, Universal Studios Orlando™, Florida, USA

3.活動の目的

国際的な場での発表を経験することで、様々な分野の識者からフィードバックを得られると考える。特に、一手法としての本研究を他分野の専門家が活用する場合、どのような応用が考えられるかという知見を得られることを期待する。

4.活動の成果



ポスター発表の様子

本研究の主題である手法の技術要素の解説に加え、どのような活用が考えられるかについて発表した。

原理や技術制約、独自に解説したツールについて図表を多用して解説した。工学分野の研究者からは非常にユニークな技術であると好評を得た反面、定量的な評価やシミュレーションツールの開発がなされていない点を指摘された。工学的手法を提示す

る場合、その信頼性や再現性を確認するため現象の定量化による把握が重要視されていると感じた。

活用法に関する議論の中で、非常に多くのアイデアが得られた。写真にあるピンク色の付箋はすべて聴講者が記入したものである(写真右)。「ADHDの症状を抑制する器具」や「児童向けの玩具」など、他分野の研究者独自の発想に触れられたことは大きな成果である。

発表内容だけでなく、展示方式についても多くの好意的な意見が聞かれた。実際に触りながらパラメータの変化を比較できるよう、サンプルの実物を展示した(写真左)。このような方式は非常に稀で、来場者の目を引くことに貢献した。

5.今後の展望

本学会に参加し、他分野の研究者と議論を交わす中で、本研究の将来性、不足点を発見することが出来た。今後、ハードウェアの開発や定量的な評価など、より実践的な研究を進めていきたい。

6.謝辞

国際学会参加にあたり、資金面で援助くださいました慶應義塾大学湘南藤沢学会様に深く御礼申し上げます。